

クラブ ファンタジーだより

No. 26 2000・4



いあいさし



会長 岡田晴美

毎年、卒業演奏会で学生が四年間の成果を披露し、卒業式に臨む頃、陽さしは春を感じさせ、若い人達が希望に燃えて、岡田山を巣立って参ります。

私達のクラブファンタジーは、会員の皆様の御協力と、役員の方々の惜しみない御奉仕のおかげで来年は50周年を迎えます。その間、先輩方の努力に支えられて現在二千余人の会員がそれぞれ分野で活躍していらっしゃいます。

以前から念願でありました音楽学部の大学院が今年度より設置されました。これから学生達には、研究の場が益々拡がって参ることでございます。

卒業生の中には外国で研究を続け、学位を取得して当地での評価が高い方、ま

た国内外で活躍している方々が沢山いらっしゃいます。

この方達に母校神戸女学院の専任教員として、後輩を指導する場が与えられますなら、これからの学生に大きな指針となることでしよう。卒業生の活躍とその力を、学校側に認めて頂きたくと強く願う者の一人です。

岡田山の正門を入ると、喧騒の世間から隔絶されたユートピアのような神戸女学院が、何時までも素晴らしい教育の場であり続けることを、皆様と共に祈りたいと存じます。

卒業にあたって

- 117 生村麻代 (Vo)
- 117 名和里佳 (P)

音楽学部の校舎に向かう長い坂道を満開の桜と大勢のサークル勧誘者に見守られながら登ったのが今から四年前。「卒業するにあたって」ということで何か一言、といわれて意気揚々と書き始めたものの書きたいことが多すぎて頭の中で交錯してしまい、改めて四年の歳月の重さ、溢れ出る思い出の多さに驚いてしまいます。

戸惑った登録の手続き、

クラブファンタジー賞



117 鈴木さやか (Vo)

桜咲く春の日に、多くの期待を胸に岡田山を登った入学式から早四年、月日が

経つのは本当に早いものと感じております。今、神戸女学院大学を卒業するにあたり、このような素晴らしい賞を頂きましたことは本当に思いがけなく、大変嬉しく思いますと共に、今まで私を温かく見守り、ご指導下さった先生方に深く感謝を致しております。神戸女学院での四年間の大学生

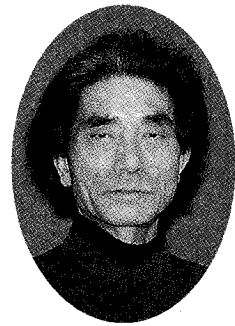
地図なしでは歩けなかった広々とした校舎、授業ごとに変わる教室。そして支え合う中で作り出される舞台の成り立ちとそれに伴う喜びを知ったこと、先生はじめ職員の方々のお力と友人達の思い遣りを様々な場面で感じたことなど、思い出一杯の学生生活でした。この経験を大切にこれからの人生を歩んでゆきたいと思えます。感謝を込めて。

- ハンナ・ギューリック・スエヒロ賞
- 117 山本 真理 (P)

活は、常に自分の周りに沢山の音楽があり、音楽について語り合える先生方と友人達がいて、この環境は普通科の高校に通っていた私にとって、とても新鮮で、多くを学び得たことは何ものにも代え難いものだと思っております。今後も神戸女学院で与えられたものを大切に、受賞者の名に恥じないよう、日々精進して参りたいと思えます。

私の見た「美しい目」

教授 猪本 隆



今から21年前、私は作曲・理論の教師としてこの大学に赴任してきました。自分の未熟さ、教師としての不適格性等々にも拘らず、同僚や学生達、卒業生の皆様に支えられ、何とか定年まで勤めることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

この21年間に、学生達と共に味わったすばらしい時間：マーラーの「復活」に流した恥ずかしいくらい涙、だんだん音楽の本質を理解していく彼女達の目、それらは私にとって、とても嬉しいことでした。その一方には、すばらしい音楽が響いていようと、すばらしい言葉が語られていようと友達との会話に夢中になっ

しいことでした。

.....

その頃、大学卒業を目前にしながら私には何の希望もありませんでした。恋人は新しい音楽を求めてニューヨークに去り、急に現れた新しい音楽の波についていけず、私は自分の音楽をも見失ってしまい、何をやる気力もなくなつて落ち込んでいました。そんなある日、いつも無意識に通る過ぎていた道沿いに、動物園があるのに気がつきました。そう言えば、中の動物達の鳴き声を聞きながら大学に通っていたのです。別に深い意味もなくチケットを買うと園内に入り、ライオンや豹の檻の前を通り過ぎて、キリン親子の檻の前でぼんやりとしていました。私はそばに子ども達の一団が先生に連れられているのを知っていました。しかし何か違う気配を感じて振り向き、ハツとしたのです。彼らは皆、目の見えな

生きとじていて、好奇心いっばいにキリン親子に夢中になっていたのです。なぜか私は感動でいっばいで目を見たことはありませんでした。この無心な子ども達の目にふれて、私は自分を取り戻したのです。私は、私を求めこんな目があるのなら、こんな輝く子ども達に奉仕したいと思いました。……私は時々あの目を思い出します。そして自分の歩んできた道を振り返ります。私は、あの時の決心とは反対の道を歩んでしまったのだろうか……この大学には幸せな学生達で溢れています。

(2面下段へ続く)

定年を迎えて思うこと

教授 奥村 智美



美しい自然環境に恵まれ、思い出多い学生生活を送らせて頂いた母校に非常勤として八年、専任として十九年勤め、ミレニアム二千年に定年を迎えました。

楽しかった学生時代とは異なり、大学教師としての資格があるのかどうか自問自答のたまたかいの連続だったように思います。怠け者の私が、学生に「練習しなさい」とは言い辛いと浅田先生に話したら、先生が「それとこれとは別です。神様から授かった賜物を生かして、一生懸命教えることです。」と力づけて下さいました。「思いあがることなく、神が各自に分け与えられた信仰の量に従って慎重深く思い、あなたに与えられて内に持っている恵みの賜物を生かし、指導する者は熱心に指導し……いっさいのことを愛をもって行いなさい」との聖書の御言葉を心に留めて、神様の御導きに感謝しつつ、学生達との素晴らしい出逢いに支えられ、ここ迄辿り着くこと

が出来たように思います。能力も音楽的才能も異なる学生それぞれの長所を引き出し、上達することを願ひ乍ら、聴く耳を持つ事、一日一日を大切にすること、すべてに心を籠める事、忍耐と努力、いざという時自己に打ち勝つ力、感謝する事等々を、音楽の厳しい勉強に励む過程から、卒業後に会おうと思われる悲しみや苦しみを乗り越え、しあわせな生涯を送ることが出来る力を少しでも身につけて欲しい……との思いを抱いて生徒一人一人に接し、教え、教えられてきました。

この事は、私が神戸女学院、恩師、両親から受けた教訓の一端なのです。今年、創立一二五周年を迎える母校も、社会情勢の波を受け、音楽を志す学生の減少も、目に見えて来ました。この時期に、母校で輝かしい伝統を受け継ぎ、指導して下さる卒業生が一人でも多く！と願ひ、切に祈るばかりです。

不思議な出逢い

53 那須美恵子



右が筆者

何十年か前の或る日、オ

カップ姿のかわいらしいお嬢ちゃんが神戸の家へ来られました。其の時一寸ポケットから出されたのは玩具の子犬！それが動き出し、私共の歓声でガラス戸が割れそうでした。福ちゃんと名付けたその犬は毎日幸せをもたらししてくれました。

日本、ヨーロッパで御活躍、毎年行われるイタリアでの声楽コンクールの審査員である大音楽家岡田晴美さんがこのお嬢ちゃんです。今回はポケットからでなく電話で執筆を—と、有意義な学者的な事はとても書けない私の記事、楽しんで頂けましたら嬉しいいです。

伯父家族の居りますシカゴ郊外のノースウエスタン大学音楽学校大学院に留学しましたのは四十余年前、それを知られてキリスト組合教会日本語部のピアノニストに迎えられました。驚いた事に牧師は元同志社総長、神戸女学院理事長、そして級友の義父牧野虎次先生でした。又礼拝に奉仕が出来る事は感謝でした。

ある素敵な食堂でお行儀の良い坊ちゃん達に見とれておりましたらフトこちらを向かれた御母様はまあ！広田先生のお孫様と曾孫様で思わず抱き合いました。その後ピアノ、バイオリンのレッスンに來られました。が、このアメリカで先生に御恩返しが出来、うれしいでした。

さて私のピアノの教授はポーランド系女流ピアノニストで、そのショパン演奏に心をひかれ研究しましたが、やはり血の流れでしょうね。夏の夕、ラビニア野外演奏会にDr.ガントツが來られるので紹介して上げましょう

と御招待下さり本当に緊張してしまいました。音楽部時代広田美須々先生が「大ピアノニストは語る」の本をお読みなさいと教えて下さった二十人の世界的ピアノニストの中で、ガントツ先生の事を読んだのを覚えて居りました。今頃この土地である記事の大教授に御逢い出来るとは！④音楽辞書のドルフ・ガントツは一八七七年スイス生れのピアノニスト、チェリスト、作曲家、指揮者、シカゴ音楽学校校長（妹はこのバイオリン科に留学）とあり、新曲を次々とアメリカに紹介されました。

ふくよかな暖かい手で握手をして下さり「今何を弾いていますか？」偶然其の時ガントツ作曲十三頁の妖精の舞う様な早いパセージの後二小節休止符をしてカラリンと時計が一時を打ち其の後二小節休止符で終わる面白い難曲「深夜後」と答

えましたら、二本の指で私の肩をポンポンと叩かれ「貴女はそれを弾いてはい

けない、貴女はベッドの中にいる筈」で大笑い。

ガントツ作ピアノ曲20の動物の絵を総領事公邸での日米協会例会に演奏し大変喜ばれましたが、シンフォニー用に編曲されたこの曲の中の「蚤」が面白くてアンコールく。指揮者Dr.ガントツは早速ステージに上り「アンコールは出来ない、蚤は死んでしまったから」そこで又爆笑アンコールでした。

音楽家ミセス・ガントツとは今も親しくして頂いております。

ラビニアと言えば五年間小沢征爾氏がシンフォニーの専任指揮者でした。

放送局の依頼で対談させて頂いたのですがステージの小沢氏と違い「お鮎食べない？」と言えそうな親しみ深い方でした。

妹と私はここ30余年54ヶ国人種にピアノ、バイオリンのレッスンを続けて居ります。幸い毎年コンクール優勝者があり審査員の好みは作曲者のスタイルを出し、個性を生かし、真心を込めて訴える様な演奏法が喜ばれる様です。

音楽部で初代の先生方もこのように私共を育て、下さいました。愛校精神を以ってそれが受け継がれ、今後も卒業生の方々、女学院の特徴ある音楽部の良さを保ち続けて頂きたいと願います。

神様が下さった大切な贈物の出逢い文字で皆様との出逢い嬉しうございます。



後日この先生からレッス

ンを受け、笑いの中で無理なく音楽を学べた幸せを生徒さんに伝えて居ります。

一九九九年度、クラブファンタジーの夕べを十一月一日(月)宝塚ベガ・ホールで開催致しました。会員の皆様のご協力により、大盛会のうちに終えることができました。会場にあふれんばかりの聴衆のなか、出演者の方々には、内容の濃いご熱演をいただき、大変すばらしい演奏会となりました。五十周年を間近に控えた演奏会を開催したいと思っております。多くの方々が御来場下さいますようお願い致します。

クラブファンタジーの夕べ

1999年11月1日(月)
於：宝塚ベガ・ホール



第一部

1. チェンバロ独奏 秋田直美 M109
「第1組曲」より J.H.フィオッコ
アダージョ
アレグロ
アンダンテ
ヴィヴァーチェ

2. ソプラノ独唱 福嶋千夏 M113
専114
伴奏 藤本真基子
歌劇「ナクス島のアリアドネ」より
やんごとなき女王様 (ツェルピネッタ)
..... R.シュトラウス

3. ピアノ独奏 藤本真基子 M112
専113
2つのソナタ ハ長調 L.104
ニ短調 L.108
..... D.スカルラッティ
イスラメイ (東洋風幻想曲)
..... パラキレフ

第二部

1. アルト独唱 井上和世 M86
伴奏 森田有香 M110
愛の歌 G.フォーレ
牢獄 G.フォーレ
マンドリン G.フォーレ
月あかり G.フォーレ
「歌われた歌」 F.ブーランク
1. ロマン派風な歌
2. 田園風な歌
3. 荘重な歌
4. 快活な歌

2. ピアノ独奏 大川内玲子 M87
マズルカ Op.59 No.1 ショパン
No.2
No.3
ノクターン Op.32 No.1 ショパン
ポロネーズ第7番「幻想」 Op.61 ショパン

クラブファンタジー
後援について



クラブファンタジーでは、演奏会をされる方の後援をしております。ここに99年度の後援状況をお知らせ致します。今後、演奏会の後援を希望される方は、後援依頼書を左記までご請求下さい。

90 岩村由紀

1999年度 後援演奏会			
1. スプリング・コンサート (ジョイント) 塚本紀子 (M108P)	3月31日	16. 奥村智美ピアノリサイタル (M74)	10月25日
2. スプリング・コンサート (ジョイント) 神田美幸 (M113Vo)	4月4日	17. SoloとDuoの会 松田真理子 (M91P) 他	10月31日
3. 岩田朋子ピアノリサイタル (M100)	6月7日	18. 横山由起子ピアノリサイタル (M104)	11月9日
4. ワルシャワ・フィル=コンサートマスターとの共演による「室内楽の夕べ」 内田博世 (M100P) 氏田敬子 (M101P)	6月10日	19. 室内楽の夕べ 前中明子 (M77P)	11月11日
5. 絵画と音楽の織りなす世界 菊本恭子 (M109Vn)	6月27日	20. 室内楽の夕べ 浦上真理子 (M95P)	11月12日
6. 三谷知子ピアノリサイタル~ショパンによせて (M108)	7月9日	21. ショパンと旅する3時間 池田純子 (M102P) 大江美香 (M104P)	11月23日
7. エレガンス フルートアンサンブル 小久見豊子 三澤多加子 (M101) 川出桂子 (M114) 小久見佳代 (M115)	7月9日	22. 碓山典子ピアノリサイタル (M105)	11月24日
8. 飯沼京子、渡沼雅子、黒江薫ジョイントリサイタル (M96Vo) (M97Vo) (M99Vo)	9月4日	23. 前田綾子フルートリサイタル (M111)	11月25日
9. 第7回 クライス コスモス コンサート 番匠愛、住吉朋子ジョイントリサイタル (M114P) (M115P)	10月1日	24. 舞曲の肖像 西村喜子 (M79P) 林規子 (M100P)	11月29日
10. 野村幸代ピアノリサイタル (M102)	{ 10月8日 10月17日 10月11日	25. 末木みどりヴァイオリンリサイタル (M113)	2000年1月15日
11. 北の大地のものがたり 上原奈未 (M113P)	10月14日	26. 唐澤まゆこソプラノリサイタル (M110)	1月20日
12. 下西美都チェンバロリサイタル (M109)	10月16日	27. 山内信子ピアノリサイタル (M113)	2月20日
13. 響の会 第10回作品発表コンサート 丸尾喜久子 (M93Co)	10月16日	28. 谷口敦子ピアノリサイタル (M106)	3月11日
14. 奥村真理ピアノリサイタル (M100)	{ 10月16日 12月17日 10月17日	29. ピアノの詩集 塚本文子創作演奏 (M89Com)	3月22日
15. 秋田直美チェンバロリサイタル (M109)		30. ピアノジョイントコンサート 高孝美帆 (M110) 山岸陽子 (M110)	3月23日

同窓生訪問

87 中谷葉子



小学二年生の時、「相愛子供の音楽教室」の弦楽合奏クラスで、斉藤秀雄氏の指導を受けたのが、私のオーケストラ感動初体験。その直後に「朝日ジュニアオーケストラ」という、今度は本格的な八十人位の大編成のオーケに入団し、当時より朝比奈先生の指揮でシューベルトやベートーヴェンのシンフォニーを弾いていましたから、私の人生はその時から道が敷かれていたのかも知れません。

音楽学部在学中には、合奏の授業だけでは物足りず、大フィルやBK響（NHK大阪）などプロを筆頭に、関西の各一般大学のオーケ等、お呼びがかかれば何処へでもエキストラとして参加していました。（その為に大分

授業もサボりましたが…）そして、四回生の秋、幸運な事に大フィルが団員を募集している事を知り、オーディションを受けるチャンスを得た訳です。しかし、その当時のオーディションは、任意の協奏曲と、オーケストラスタディの初見がほんの数曲。審査員は指揮者とコンサートマスター、各パートのトップが数名、といった程度でした。現在のシステムでは、そう簡単にはゆきません。第一次で選ばれた数名が二次に進み、今度でもう一度演奏し、審査を受けねばなりません。プロのオーケストラに入団するだけでも、最近はほとんど門が狭くなつて来ています。さて、大阪フィルハーモニー交響楽団（朝比奈隆を音楽総監督に、五十三年の歴史を持つ伝統的なオーケストラ）に私が入団してから三十年たちますが、その間に、三度のヨーロッパをはじめ、アメリカ、カナダ、韓国、台湾等の海外公演も

ありました。国内では京阪神及びその近郊を中心に、北海道から沖縄まで。演奏会は、年間大体一三〇回前後。その合間に練習日や移動日等が入ります。しかも、入団当初は特に、次から次へとやって来る未体験の曲の自分のパートを前もって家でさらっておかねばなりませんから、最初の三年位はレパートリーをこなすだけでアツという間に過ぎていってしまいました。ドキドキする位嬉しい事もあります。それは、指揮者として、朝比奈隆はもちろん、国内外の各有名なマスター達も、共演出来る事など夢であった様な世界的な著名人達が身近で演奏してくれるので勉強になる事も一杯です。しかし、そうそう、「バラ色の様な毎日ばかり」とは行かないのが現実でもあります。

現在の日本では、まだまだ「文化」の為に充分な予算を投じて頂けず、その国家全予算に対する比率は欧

米のそれとは、大きくかけ離れています。

日々、より高い芸術を追い求める我々演奏家達の現場である華やかな舞台の裏側には、そういった面で結構厳しい「台所」がある事は避けられない現実です。

FINE

(70大フィル入団。夫も大フィルの打楽器奏者。22才と18才の息子あり)

関東支部だより

91 数内雅子



99年度関東支部総会は、五月二十五日、日暮里サニ

ーホールにて参加者約30名で開催されました。総会後ピアノスト・作曲家として活躍の野平一郎氏をお迎えして、講演会が催されました。

現在どのような考えで音楽活動を行っているかをお

話し下さり、最近の作品や演奏のCDを聴きながら、有意義な時間を過ごさせて頂きました。最後に質問が出て盛り上がり、いい雰囲気うちに終わりました。お話やピアノ演奏をもっと聴いてみたいと心に残る講演会でした。

次回'00年度総会は、五月二十五日（木）同ホールにて開催します。総会後には、同窓生による演奏会を予定しております。

また関東支部には、「ゆりの会」という年三回（三月、六月、十一月）の発表・リサイタルの場があります。今年に入つて、三月二日、サニホールにて例会が催されました。詳細は、96回大山文字までお問い合わせ下さい。

90	79	67	55	53	52	47	42	永眠会員	
前田珠希	勝部充子	森田サカエ	佐藤小夜	有馬綾子	須藤澄	直木松子	大塚季子	98	10
99	99	99	99	99	99	98	98	8	4
12	11	4	8	6	6	8	8	23	4
31	28	4	24	27	30	23	4		

'00年度音楽学部教職員

〔専任〕

音楽学部長 若本明志 教授

学 科 長 前中明子 教授 77

学生主事 西 明美 教授

辻井 淳 助教授

教 授 池田洋子 (P)

前中明子 (P)

中村 健 (Cho・Orch)

西 明美 (Vo)

西田直孝 (Fl)

音川絃一 (P)

斎藤言子 (Vo) 94

助 教 授

石黒 晶 (Com)

橘 茂 (Vo)

田中修二 (P)

辻井 淳 (Vn)

客員教授 ニキタ・ユジヤン (P)

事務職員 河野有宏

坂井紀子

松浦陽子

〔新任〕 専任 大滝教授 角倉一朗 (音楽学)

澤内 崇 (Com)

山上明美 (P)

若本明志 (Vo)

大大学院教授 津上智実 (音楽学)

学部 講師 佐々由佳里 (P)

非常勤講師 猪本 隆 (Com)

奥村智美 (P) 74

橋本玲子 (Solf) 99

〔退職〕

客員教授 カルマン・ドライ (P)

教 授 猪本 隆 (Com)

非常勤講師 奥村智美 (P)

藤井易子 (P)

大倉 (石原) 恭子 (Solf)

大野和子 (Solf)

竹内良治 (室内楽)

創立125周年記念行事

神戸女学院はこの秋に創立125周年を迎え、記念行事や、事業を計画しております。音楽学部に関するものをお知らせします。

〈ホームカミングデー〉

10月21日(土)

・ミニコンサート 11時

・奥村元教授、斎藤教授、

前中教授

・パーティ 12時

・「讃美歌の歴史」講演会 14時

・茂名誉教授、若本教授、

・荒田講師、太宰講師 他

〈記念シンポジウム〉

11月1日(金)

文学研究科・人間科学研究科・音楽研究科学生による〈記念音楽祭 メサイヤ〉

12月9日(土) 18時

於 神戸国際会館

創立125周年記念事業

〈第二学院歌(仮称)の制作〉

デフォレスト元院長作詩

〔Beauty comes a College〕

澤内教授作曲

〈ビデオの制作〉

〔神戸女学院物語〕

〔神戸女学院の125年〕発行

〈記念植樹〉

公開レッスン・講座

学院内で催される公開レッスン・講座を、お知らせします。新規に聴講希望の方は、お申し込み下さい。

82 亀井 洋子

99年度公開レッスン・講座

1. コンラッド・マイスター・音川先生の2台のPのための演奏会 4月26日
2. コルネリア・ヴルコップフ 声楽公開レッスン 6月14日
3. ヴェルナー・ブライク 「音楽学」公開講座 11月2日
4. ヘンリエッタ・ミルビス ピアノ公開レッスン 11月15日
5. 奥村先生最終講義 1月14日
6. 猪本先生最終講義 1月21日
7. 釜洞祐子声楽公開レッスン 1月21日

春の新人演奏会

一九九九年卒業演奏会
(第117回・52名)は、三月一・二・三日の三日間、神戸女学院講堂で、また専攻科の修了演奏会(第10回・12名)は二月二十五日宝塚ベガホールにて行われました。

本年度卒業生のうち選抜された方達による新人演奏会は、四月十九日(水)午後6時半よりいずみホールで、例年通りクラブファンタジー協賛で行われます。クラス委員を通じて入場券をご依頼申し上げますのでよろしくご協力下さい。(入場料千円)

音楽学部新人演奏会

(P) 林 朝子 小林 春菜
宮階 郁子 森本満穂子
名和 里佳 竹山 陽子
山本 真理
(Cem) 中野佳代子
(Vo) 長谷川明子 鈴木さやか
(Vn) 仲井 淑子 (Fl) 木戸 怜子
(Com) 小西 利佳

東京読売新人演奏会

5月4日(木) 東京文化会館大ホール

鈴木さやか
関西新人演奏会 5月17日(水)いずみホール
木戸 怜子 名和 里佳

兵庫県大学新人演奏会 5月13日(土)・14日(日)
兵庫県民小劇場

小西 利佳
大学新卒推薦演奏会 4月23日(日)

西宮市民会館アミティホール
森本満穂子 (Vo)野端 美希

ファンタジーコーラス

メンバー募集中!

只今少人数ですが、楽しく賛美歌・日本の歌などを練習しています。

指導・76 桑田 絲子先生
場所・甲東教会

(阪急甲東園下車すぐ)
日時・第二・四金曜日

午前十時三〇分〜十二時
連絡先・89 中野 道子

☆新名簿が出来ました
まだ少し在庫があります。

一冊千五百円で、追加注文を受けつけております。尚住所変更された場合は、必ず下記へお届け下さい。

2000年度クラス委員

53	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86																																						
鈴	ト	村	藤	村	鈴	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117																								
シ	敏	居	土	居	シ	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
子	敏	海	浅	海	子	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95																						